

「から」に翻訳された中国語表現

日本語 (訳文)		中国語 (原文)			
会話文	地の文	会話文	地の文	作品名	訳文
	このルートを選んだのは節約のためだったから、さらに五角払って垢染みた布団を借りる気にはなれなかった。		走这条路原本是为省钱,当然不舍得再花五毛钱去租一条油光光的被子。	插队的故事	遙かなる大地
	一日で一元は稼げるだろうから、一年で三百数十元になる。		一天总能挣回一块钱,一年三百元,	插队的故事	遙かなる大地
明娃が生きていた時、おれとは仲がよかったから、あいつの息子の面倒はちゃんとみる		明娃在时和我可好哩,我不能错待了他的儿。”		插队的故事	遙かなる大地
	揺り起こしをしている人の中には女性もいるから、見えない所へ行って用を足すのが人の情理というわけで、隊長は文句を言わない。		掏地的人中有婆姨女子,找个背人处去方便便是颇通情理的,队长没话说。	插队的故事	遙かなる大地
「この子たちは北京から来たから、わしらのところのことがわからねえだよ」		“这些才从北京来,解不开咱这搭儿的事。”		插队的故事	遙かなる大地
先生がやって来てどうかしたのかと訊くから、あなたがアメリカ人にはわからないと答えたわ。		他来问我怎么了,我说你们美国人不会懂。		插队的故事	遙かなる大地
	毎晩晩飯は粥だから、小便でもすればしばらくすると腹が減ってくる。		每天晚上都喝稀的,儿泡尿一撒,一会就又饿了;	插队的故事	遙かなる大地
	王連軍はやはりわれわれより年下だから、そのへんのからくりがわからない。		王建军到底小几岁,没悟透这中间的妙处。	插队的故事	遙かなる大地
	今は個人経営になったから、牛は別々に分けて各家で飼うことになった。		现在单干了,牛都分开,各家喂各家的。	插队的故事	遙かなる大地
、おまえは男なんだから、ちゃあんと翰林になっておくれ		“如今你是一个男子,就应当真作个翰林了。		关于女人	女の人について
ひとが赤い口紅を塗っているから、自分も塗る。ひとが爪を赤く染めているから、自分も染める。		人家抹红嘴唇,你也抹红嘴唇,人家涂红指甲,你也涂红指甲,		关于女人	女の人について
今年の十二月はお父さんの還暦祝いだから、お嫁さんをつれて帰ってきてもらい、主人役をしてほしい。		今年腊月是你父亲的六十大寿,我总希望你带一个媳妇回来,替我做做主人。		关于女人	女の人について
でも、あの娘、卒業までまだ一年あるから、本人の気持ちも聞いてみて下さいな		不过六妹还有一年才能毕业大学,你问她自己愿意不愿意。”		关于女人	女の人について
ぼくには相手がいないから、いつになったら結婚できるかわからない。南京勤めなんだから、ここに長くいては勤めに差し支える。		因为我还没有对象,我已把这责任推在二弟身上了;你的事情在南京,不便长在北方逗留,		关于女人	女の人について
「それじゃあ、お客様はお断りするから、もう一晩だけ泊まっていてください」		“也好,你再住一天,我们不请客人好了。”		关于女人	女の人について
Pは仕事で忙しいから、気分転換しなさい		他一天工作怪累的,应当换一换脑筋。”		关于女人	女の人について
「授業の時間になるまでは部屋にいるから、なにかあったら私を呼びなさい」		“不到上课的时候,我是不会走的,你有事叫我好了。”		关于女人	女の人について
「張嫂さんはおめでただから、水がきかれて困らないように、早めに老張に頼んでおいたほうがいいだよ」		“张嫂的身子重了,关于挑水的事,您倒是早和老张说一声,省得他临时不工。”		关于女人	女の人について
今日蘇■をつくったのですが、味もまあまあだったから、食べてもらおうと思って持ってきたの		我今天新蒸了一块丝糕,味儿还可口,特地送来给你尝尝。”		关于女人	女の人について
「ええ、かならず。K君は誠実なひとですから、諦めきれないんです」		“那是一定。K真是一个实心的人,什么事都不大看得开!”		关于女人	女の人について
	はじめは香港だけのつもりだったから、嫁たちを連れてこようとは思わなかったといいました。		我说本来是只到香港的,因此也没想到带着他们。	关于女人	女の人について
	われわれ男と同じ生きもので感情もち理性をもつ。ただ感覚はより鋭敏で反応はより率直、そして表現がいきいきとしていてから、男よりも表情豊かでも千変万化する。		她只是和我们一样的,有感情有理性的动物。不过她感觉得更敏锐,反应得更迅速,表现得更活跃。因此,她比男人多些颜色,也多些声音。	关于女人	女の人について
すごく嬉しそうだから、僕らますます乗っちゃってさ。		我们学生一看老师不管,还挺高兴,我们就来劲了。		活动变人形	応報
	何といても姉の倪萍は彼より一昨年上だから、何事につけ彼より物知りだし、思慮深いのだ。		当然,姐姐比他大一岁,这就注定了什么事情都比他懂得多,想得也多。	活动变人形	応報
	これは田舎の任来りだから、静宜の口出しできる事ではないが、		这是乡间的规矩,静宜没的可说,	活动变人形	応報
	或いは彼女が情の強い女だから、難題にぶつかるといっそひと思いに困りある人と物を振り切ろうとするのかも知れない。		也许因为她是一个心狠的人,遇到难以处理的事就想干脆放一把火,把所有的有关的人和物烧个干净。	活动变人形	応報
	彼女が寡婦を通ずるのは女の運命、妾家に生まれ趙家に嫁いだから、この母の娘でかの妹の姉だから。		她之守志正如她之是女人,她之生于姜家嫁于周家,她是姜赵氏的女儿与倪姜氏(现在很少这样用了)的姐姐,她的父亲与丈夫差不多同时一命归西。	活动变人形	応報
	白帆のヨットに憧れたから、それを持ってない寂しさは一人である。		他感到了白色帆船的可爱,这就感到了没有白色帆船的缺憾的痛苦。	活动变人形	応報
	そんな机でも食事に使うから、その度に辞書や原稿用紙、インク、ペンを取り片づけ、唯一立派な細いスチールであんだ文献ケースを凸凹の土間の上に置かねばならない。		就这样一张桌子还要在上面吃饭,吃饭的时候要把手词典、稿纸、墨水瓶与钢笔,还有惟一显得讲究些的那个铁丝编的稿篋搬到布满小泥疙瘩的地上去。	活动变人形	応報
「豆腐の味が少しおかしくなったから、新しいお菜に混ぜないと食べられたんじゃない」		“豆腐干走了味了,不掺到新菜里就没法吃了。”		活动变人形	応報
あなたはヨーロッパに住みついたことがないから、あちらが良いと思うのです。		只因为你并没有真正在欧洲安家过日子,你才觉得那里好。		活动变人形	応報
	姉のほうはもともと医者と薬が大嫌いときているから、こんなニュースを聞くとき生きた心地もない。		姜却之本来就怕医药,听到这些消息更是魂不守舍。	活动变人形	応報
	幸い倪萍は新しい社会を双手を拡げ歓迎して抱擁していたから、「小尼姑以下の主夫」云々という怪しからん言葉に災いされての不眠症に長く悩まされることはなかったのだが。		幸亏倪萍是那样欢乐地拥抱着欢乐的新生活,才没有被“次小尼姑”“家庭主男”这种独特令人发指的词儿的刺激下失眠太久。	活动变人形	応報

日本語（訳文）		中国語（原文）			
会話文	地の文	会話文	地の文	作品名	訳文
「金発さん、急用ができたから、すぐ帰って」		“金发哥，有急事儿，你赶紧回去。”		金光大道	輝ける道
	奴の腹には魚や肉が取まっていたんだから、菜っぱ腹の臨時雇いを遣けるのは当たり前だ。		你一肚子鱼肉，当然能干过吃了一肚子野菜短工们；	金光大道	輝ける道
「上からまだおりてきてるわけじゃねえんだから、あちこちふれてまわるのはやめなよ。」		“上级还没布置，别到处嚷嚷去；		金光大道	輝ける道
あそこはおれたち人民が公けの仕事をするところだから、きれいに片付けておかなければ」		这是咱们人民自己办公事的地方，一定要布置得好好的。”		金光大道	輝ける道
共産党がきたから、家も畑ももてるようになったんだ。		共产党一来，才分了房子分了地，		金光大道	輝ける道
	長いきせるや短かいきせるがあわせて六、七本。のべつまくなしにスパスパやるものだから、白い煙りが頭上のえんじやの古木の枝から枝を雲のようにただよい大空へ消えていく。		六七根长的短的烟袋，一齐抽起来；团团缕缕的白色烟雾，在他们头顶上那棵老槐树的枝杈间盘旋着，消散着，	金光大道	輝ける道
いま、政府は一身おこせつてんだから、あんたひとつ先頭に立って、いいとこみせてくれよ」		，如今政府号召发家致富，你得起个模范带头作用啊！”+		金光大道	輝ける道
「上物のお茶つうもんは身体にいいから、まあやってみろや」		“好茶叶是保养身子的，你就来试试吧。”		金光大道	輝ける道
「みなさん、お静かに、お静かに。村長の話は、終わってねえですから、よく聞きましょう。」		村长还没讲完，注意呀！		金光大道	輝ける道
「君ははずれわかってくれると思ってたから、説明しなかったんだ。」		“我相信你会搞明白，所以没有再解释；		金光大道	輝ける道
「暗くなったから、書きものはやめたら。さ、食事にしましょう。」+		“天黑了，别写了，吃饭吧。”		金光大道	輝ける道
	会議の席上、張金発の家は古いし子どもも多いから、その材木であら屋を建て直したらどうか、と提案した。		会上提议：张金发的房子旧，孩子多，应当把那些木料留给他翻盖破旧的房子用。	金光大道	輝ける道
「脱がない方がいいよ。家の中も寒いから、冷えないようにしないと」+		“别脱衣服，这屋冷，小心冻着。”		金光大道	輝ける道
「わしは食ってきてんだから、やっていいよ」		“我吃过饭了，就给他吃了吧……”		金光大道	輝ける道
。あんたは、わたしの命の恩人だから、どうしたってお礼しなけりや。」		你是我的救命恩人，我应当酬谢你；		金光大道	輝ける道
「おれが指揮して晩飯まえにはやっちまうから、あんたは早くあがって、宿舎で休みなさい」		“我亲自带着干，保证晚饭前把它掏干，你就快点上来，回宿舍休息。”		金光大道	輝ける道
	小耳にはさんだところでは、高台のクラブはきょう、芝居の稽古をやるはずだから、張金発もあれこれ指図しに来ているにちがいない。		冯少怀要到高台阶走一趟。据说，那里的俱乐部今天排戏了，张金发一定会在那儿指点；	金光大道	輝ける道
	みんなは、この役は歌が多いから、相当な者でないとならまらまい、と思っていた。		大家都在想：这个角色唱词多，要选个能干的。	金光大道	輝ける道
「そうよ、入知恵をしたのはそもそも村長なんだから、村長にもヒジ鉄くらわさないよ」		“是呀，主意本来是从小队长心里出的，也应当让他撞撞钉子。”		金光大道	輝ける道
「安心しなされ。あの子は金だから、みがきがかかる一方ですよ」		“这个你放心。他是金子，越变越会发光。”	評価	金光大道	輝ける道
わたしは地主でも、富農でもないし、あなたに迷惑かけっこないから、安心して……」+		我不是地主，也不是富农，沾不上你，不用怕……		金光大道	輝ける道
「手が石けんだけだから、一杯汲んでちょうだい」		“我这手上都是肥皂沫子，替我打一桶吧。”		金光大道	輝ける道
メチャクチャに忙しいから、ひよっとすると、あんたと話をする暇はないかもしれねえ。		“这几天把他们忙得够呛，不一定顾上跟你谈什么。”		金光大道	輝ける道
	農民は耳で聞いたものより、目で見えたものを信用するから、実験の成果が出たところで普及したいって言っていた。		他说，因为农民讲究耳听是虚，眼见为实，等搞出一点成效的时候再推广。	金光大道	輝ける道
わたしはいつも区にいるから、身上作りの見本はうんと知ってる。		我在区里呆着，发家致富的典型事可知道不少。		金光大道	輝ける道
	何カ月も留守だったのに、帰るなり張金発のところへ来るんだから、重要なことではないはずはない。		他离开家几个月，进村先找张金发，能不是重要事情吗？	金光大道	輝ける道
しかしスローガンは区から出たもんだから、わしらとしてはその通りにしかできねえ」		标语是区里发的，咱们只能照着办。”		金光大道	輝ける道
「おら何カ月も留守にしてたから、早えとこ党小組の会合を開いてくれ、		“我离开家好几个月了，咱们党小组得赶快开会，		金光大道	輝ける道
「そうじゃなくて、あなたには芯がないから、いつもアラアラしててってことなの」		“不是说你没立场，因为少主心骨，总是站立不牢靠。”		金光大道	輝ける道
うちの明日で周永勤の畑が終わるから、あさつてになれば使える。		我家的牲口明天周水勤使完，后天就能抽出来。		金光大道	輝ける道
「あんたはまちがいのねえ人だから、こんな打ち明け話もするんですよ」		“你是老实厚道人，我才对你说这掏心窝子话。”		金光大道	輝ける道
二林は人がいいから、すぐひつかってバカを見る。		二林是个老实人，容易上当吃亏。		金光大道	輝ける道
おめえは党员なんだから、功德を施すのがほんとうじゃねえか」		你这党员同志，应当成人之美呀！”		金光大道	輝ける道
「いや、ここんところ何も仕事してねえから、くたびれていねえんだ」		“我这几天没干什么活儿，不累。”		金光大道	輝ける道
「きょうの話は王書記の指示で、すごく大事だから、みんな態度表明してくれねえかな」		“今个传达的是王书记指示，挺重要，都要表态。”		金光大道	輝ける道
「ここに出てる大衆も発言権があるんだから、遠慮はいらねえ」		“列席的群众也有发言权，不要客气呀。”		金光大道	輝ける道
「このこは、うちの旦那さまのものだから、わたしの手もとにおくことにしたよ」		“这孩子是我家老爷的，我要留下她！”		青春之歌	青春の歌
蒋介石のお気に入りだから、やがて高官に出世なさること、うけあいだよ。……」		他是蒋介石的亲信，不久还要升大官。……”		青春之歌	青春の歌

日本語（訳文）		中国語（原文）			
会話文	地の文	会話文	地の文	作品名	訳文
	徐鳳英の腹を痛めたのではないから、いじめられるのだと思っていた。	焦点	因为不是徐凤英生的，所以受折磨。	青春之歌	青春之歌
「みな内々の仲間のことだから、ざっくばらんにうちあげろが。」		“都是自己的哥们，我对你们说实话吧。”		青春之歌	青春之歌
「ほほう、林先生は若いから、とくに注意していただきたいものだ。」		“林先生年轻，您可得注意呀！”		青春之歌	青春之歌
	こんなに若く、美しい愛人をうることができたのだから、どんなに嬉しかったかしれなかった。		能够得到这么一个年轻、漂亮的爱人，他是多么高兴啊。	青春之歌	青春之歌
「仕事の口が見つからなくて、むしゃくしゃしてるもんだから、いつもぼくにあたるのさ。こ」		“她因为找不到工作，无处泄愤，就常常找我出气。”		青春之歌	青春之歌
今晚だけでは話きれないから、二、三日あとで本をもって行ってあげよう。ぼくらは家庭をもったのだから、やはり穏健な道を進んだほうがいい……」		我们今晚一下谈不清，我过一两天给你送些书来。我们成家了，还是走稳当点的路吧……”		青春之歌	青春之歌
「手もとにまだ少しピラがあるの。置いといては危険だから、それをまくのを手伝ってくれない？」		“我手里还有一些这种传单，放着挺危险，你帮我把它们散出去行吗？”		青春之歌	青春之歌
今日は冷静さをとり戻したはずだから、とっくり話しあおうと思ってね、とっくりと」		今天你该冷静下来了，我们好好地谈一谈，谈一谈。”		青春之歌	青春之歌
こんなことには、ぼくは経験があるから、平気だよ」		这种情况，我早经验过，算不了什么。”		青春之歌	青春之歌
	だが、そのあとで、かの女は、満屯はきつと、じぶんの過去のほんとうの生活を知らないから、あんなふうになったのだらうと思い直した。		不过，后来她又想到，可能满屯不了解她过去的真实生活，所以才这样说她。	青春之歌	青春之歌
若旦那はお金はあるし、悪知恵を働かせているから、若奥様や旦那さへ、若旦那がそんな恥知らずなことをしているとは、知らないんだよ。		他有钱，又有心计，所以连少奶奶、老东家都不知道他那些缺德事。		青春之歌	青春之歌
	こんどの北平入りは、はじめて北戴河から北平に帰ったときの状態とは、まったく違っているから、あの特務は決して、じぶんを放ってはおかないだろう。		她知道，这次回北平，同第一次从北戴河回来时大不同了，这个特务绝不会同她善罢甘休。	青春之歌	青春之歌
あなたはあちこち歩いたんだから、いろんなところの、面白い話をしてちょうだい」		你到过的地方多，给我说说各地方有意思的事听听。”		青春之歌	青春之歌
「道静、あなたは身体が悪いから、これをきなさい」		“小林，你身体很坏，把这件背心穿在身上吧。”		青春之歌	青春之歌
「気をつけることよ。敵はいろいろ手のこんだまねをするから、よく確かめてみましょう」		“小心点，敌人花招很多。咱，咱们再，再听一听吧。”		青春之歌	青春之歌
大事な話がすんだから、あとは自由に話そう。		正事谈过，该随便谈谈了。		青春之歌	青春之歌
「おばさん、お客さんが来たのだから、今夜は餃子をつくって食べましょうよ」		“姨妈，来了客人，咱们今晚包饺子吃吧？”		青春之歌	青春之歌
学校当局と同じなのだから、行って参加すればいいじゃないの？」		既然你们志同道合，那还不该去听听。”		青春之歌	青春之歌
	姉はまだ未婚だったから、顔を真っ赤に染め、一声あげて家の中に入ってしまった。		他大姐还没过门呢，涨红了脸，唾了一声，进屋去了	小鲍庄	小鲍庄
「行商の道具を揃えてやるから、おまえは出ていくがいい」		“我给你置一副货郎挑子，你走吧！”		小鲍庄	小鲍庄
「もう一人前なんだから、自分で生きてゆけばいい」		“你成人了，自己过去吧。”		小鲍庄	小鲍庄
「鮑五爺に煎餅を届けに行ったから、鮑五爺の家にいるかもしれない」		“捞渣给鮑五爷送煎饼去，人或在他家了。”		小鲍庄	小鲍庄
「遠すぎるから、帰れない」		“太远了，不回了。”		小鲍庄	小鲍庄
「なんともない。わたしは歩いて行くから、車を引いてきなさい」		“没有，我走回去吧，你拉着车。”		骆驼祥子	骆驼的祥子
	どだいむこうがこっちを人並みに見ていないのだから、こっちだって遠慮もへつたくれもない。		，因为她不拿人待他，他也不便客气；	骆驼祥子	骆驼的祥子
「ここならなくなりっこないから、安心だ」		“在这儿丢不了车，您自管放心，		骆驼祥子	骆驼的祥子
「じゃあこうしよう。家内にはわたしから言っておくから、ひとつあすにでも連れてきてみなさい。」		“这么着吧，我先和太太提一声，改天你把她带来；		骆驼祥子	骆驼的祥子
	その「機関車運転士」の娘をもらうのだから、いい加減ではすませられない。		娶进这样一位“火车司机”的女儿，自然不能草率从事。	钟鼓楼	鐘鼓楼
でもあの工場には八級の労働者がいなかったから、やっぱり最高だったんだ」		他们厂也没有八级的，他算技术最高的了。		钟鼓楼	鐘鼓楼
	だが言い分が通っていて、しかもものしり方が痛快なものだから、毎日多くの人が輪になって腰かけ、それを聞いて喜んでた。		因为他骂得有理，骂得痛快，所以天天有人坐成一圈听他叫骂。	钟鼓楼	鐘鼓楼
七叔母さんは目が高いから、お見立てねがいますよ。いいのはほとんど写してありますから、お家でゆっくりごらんになってください」		七姑您有眼力，您给瞧瞧这花样、手工怎么样？我差不多好的全抄了，您拿回家看看吧！”		钟鼓楼	鐘鼓楼
	だがポストンバッグを持っているし、東北なまりがあるものだから、勘がういってしまったのだ。		潘台智珠的公公看那年轻人带着行李，说话带东北口音，遂误以为他是他家从东北来的亲戚。	钟鼓楼	鐘鼓楼
「科学には空想が必要だから、その点、詩歌とも通じるものがあるんです」		“科学需要幻想，从这一点上说，它同诗是相通的。”		人到中年	人、中年に到るや
「あだし、眼科も手術の方ですから一針一刀もゆるがせにできませんでしょう。毛ほどの空想も許されせんわ……」		“我们眼科是手术科，一针一剪都严格得很，不能有半点儿幻想的……”		人到中年	人、中年に到るや
	明日は入院病棟の方へいくから、外来の一部の患者については孫主任に引き継ぎもしておかねばならない。		明天就该轮到她去病房，门诊还有些病人需要交代安排。	人到中年	人、中年に到るや

日本語 (訳文)		中国語 (原文)			
会話文	地の文	会話文	地の文	作品名	訳文
	何年って……とつきに計算できはしない、何年の卒業としか覚えていなかったから、そう答えた。		几年？她一时算不清了，她只记得自己是哪年毕业的，就那么回答了：	人到中年	人、中年に到るや
「これは一種の危険信号ですね」+++ 趙院長は困惑ききって首を左右に振りながらつぶつた。+++「病院を支えてくれているのはこの中年医師だから、仕事の責任も家庭の負担も共に重いわけだ。		“这是一个信号啊！” 赵天祥摇摇头又说：“中年大夫，是我们医院的骨干力量，工作上担子重，生活负担也最重，身体素质一年不如一年，长此以往，一个个病倒了，你这位主任，我这位院长就没法办了。陆大夫家里几口人？住几间房？”		人到中年	人、中年に到るや
「……人民政府は人材の尊重と愛護、知識分子政策の貫徹、科学技術要員の待遇改善を繰り返し強調しているのだから、病院レベルへ来てそれを空手形にしようわけにはいかない。……」		“中央三令五申，要珍惜人才，落实知识分子政策，改善科技人员待遇，总不能到了下边就变成一句空话吧！……”		人到中年	人、中年に到るや
「調べる必要はありません。分かるはずはありませんよ。あの時は外来で手術してもらったからカルテは無いでしょう。……」		“你不用查了，你也查不到。那时是在你们门诊做的手术，根本没有病历。……”		人到中年	人、中年に到るや
「南方訛りの女医さんは何人お持ちですね、陸医師も南方の人だからいいでしょう」		“我们这里南方口音的女同志很多，陆大夫就是南方人。就让她做吧！”		人到中年	人、中年に到るや
「張おじいさん、息子さんが治療のために大金を出して下さったんですから、治してお帰りになって下さいね。でないと私たち申し訳が立ちませんもの」		“张大爷，您儿子花了这么多钱，让您到这儿治病，没治好就回去了，我们也过意不去啊！”		人到中年	人、中年に到るや
「陸先生、あなたさんは他人のような気がせんから打ち明けていうんじやが、金の問題です。……」		“陆大夫，我拿您也不当外人，俺就实话实说吧，俺愁的就是钱。……”		人到中年	人、中年に到るや
「痛いから嫌」		“我怕疼。”		人到中年	人、中年に到るや
「ちゃんんと麻酔薬を打ってあげるから、ちっとも痛いことないのよ」		“到时候我给你打麻药。保证一点儿都不疼！”		人到中年	人、中年に到るや
「先生がお忙しいのは分かっていますから、お知らせしないで先に病院へ連れていきました。……」		“我们知道你工作很忙，没敢告诉你，带她去看急诊，打了针。……”		人到中年	人、中年に到るや
出勤しようか……明日は入院病棟の担当だから外来の方の引き継ぎ事項が山積している。……		该上班去了？明天去病房，门诊还有好多事需要交代。……		人到中年	人、中年に到るや
	診察机の前に坐る時までは、今日は早目に切り上げたいから患者を少な目に短してほしいと、婦長に相談するつもりであった		她坐在诊桌边时，心里还想着，一会跟护士长说一下，少叫几个号，我得早点回去。	人到中年	人、中年に到るや
	そこへ、院長から直々の電話で、焦副部長が明日入院するから手術を頼むという。		赵院长亲自打电话告诉她：焦副部长明天入院，请她准备手术。	人到中年	人、中年に到るや
「……遠慮なくしゃべり、意見を出す方だから、口は災いの元で、政治キャンペーンの度にゆさぶられる羽目になった。」		“……我爱说，爱提意见，结果是病从口出，每次运动都挨上。”		人到中年	人、中年に到るや
「あだし、お酒なんていただいたことないんだけど、あなたたちのお別れだから、今日は一杯つけてね」		“我从来不喝酒，亚芬和你要走了，今天我要敬你们一杯！”		人到中年	人、中年に到るや
「いや、私がいなくなっても大丈夫だよ。最近『マーケット新聞』というのが出て、求人、求職広告を載せてくれるから、君も一度試してみるといいよ」		“我走了不要紧。” 刘学尧也拍着傅家杰的手说：“现在出了一张《市场报》，登待聘广告，你可以试一试。”		人到中年	人、中年に到るや
「……右の眼が見えなくなってしまうから手術を受けに病院へ入ったんだが」		“……右眼看不见了，跑来做手术。”		人到中年	人、中年に到るや
「……幸い、担当の医師が落ち着き払って、手早く切り口を縫合してくれたから事なきを得たがね。……」		“多亏了那位大夫沉着冷静。她立刻把切口缝上了，避免了意外。……”		人到中年	人、中年に到るや
「まあ、ほんとに立派なお医者様じゃございませんか、陸先生。これこそ『医は仁術』の生きたお手本でございますわよ。残念なのは、あのころカルテが廃止されていたから、その女医さんのお名前がとんと分かりませんの。……」		“陆大夫，我就佩服这样的医生，真是治病救人哪！” 秦波感叹地说：“可惜那时没有病历，不知她姓什么叫什么。……”		人到中年	人、中年に到るや
「あだし、病院へちよつと行ってきますから、机はあなた安心して使ってくださいね」		“我得到医院去一下，桌子你尽管用吧！”		人到中年	人、中年に到るや
///「明日の朝、二つ手術があるんですけど、ちよつと気になることがあるから行ってみなくては」		“明天早上的两个手术，有些放心，我得去看看。”		人到中年	人、中年に到るや
「外は冷えるから沢山着ていきなさい」		“你多穿一件衣服吧，夜里冷。”		人到中年	人、中年に到るや
「始めます。気持ちを楽になさって下さい。先に麻酔を打ちますから、眼には何の痛みも感じないはずですよ。……」		“我们开始了。你不要紧张。先给你打麻药，这样，你的眼睛就没什么感觉。……”		人到中年	人、中年に到るや
「先生が麻酔の注射を打ってあげるから大丈夫、ちっとも痛くはないわ」		“我给你打麻药，保证你一点也不疼！”		人到中年	人、中年に到るや
「駄目よ、陸先生は昨日の夜ぞつと危険を脱したところだから、誰も会えないのよ」		“不行。陆大夫昨晚上刚抢救过来，谁也不能进去！”		人到中年	人、中年に到るや
「入れてあげたいのは山々なんですけどね、陸先生は心臓の病気がから安静が第一なんですよ。……」		“不是我不叫你进去。陆大夫得的是心脏病，不能激动。……”		人到中年	人、中年に到るや
「あなたはまだお若いんだから思いつめてはいけませんわ。……」		“你还年轻，要乐观些。……”		人到中年	人、中年に到るや
///「陸先生は極度に衰弱していますから、あまり話しがけないようにして下さい」		“陆大夫身体很弱，你，不要跟她多说话！”		人到中年	人、中年に到るや
荷造りに大重で多くを考える余裕はなかったから、出ていく決意に動揺はないように見えたの。		他一直忙于收拾东西，不及思索，好象走的决心从来没有动摇过。		人到中年	人、中年に到るや

日本語 (訳文)		中国語 (原文)			
会話文	地の文	会話文	地の文	作品名	訳文
	・・・浮き浮きとはしゃいだりするから何度もぶってやりたくなつたらしい。・・・		她甚至还表现出一种迫不及待的兴奋之情，我几次狠不得揍她一顿。	人到中年	人、中年に到るや
	おれはおやじのように「時代遅れ」ではないから、環環にこんなまねはしなかった		我不象父亲那么“迂”，没有对环环这么做。	人啊、人	ああ、人間よ
「あのころは労働者がもてはやされたから、あんただってあたしに一目おいてたわよね。・・・」		“那时候工人吃香，你还看得起我。・・・”		人啊、人	ああ、人間よ
	おれは彼女をよく知っているから、そんな侮辱はてんから信じなかった。		我了解她，根本不相信这样的污蔑。	人啊、人	ああ、人間よ
「孫さん、私たち、患難を共にした仲だから、ひとこと注意しておくけど、あなたのこと、いろいろ取りざたする人がいるのよ。……」		“小孙，我们是患难之交了。我提醒你，有人说你的闲话呢！……”		人啊、人	ああ、人間よ
「靴がみんな破れちまってる、買う金がないから、直しに出すところさ」		“鞋子都破了，又没钱买，只好拿去补补。”		人啊、人	ああ、人間よ
「おおかた同級生と遊びにでも行ったんでしょ。あの子は家が寂しいものだから、いつも食事ときにならないと帰らないの」		“大概和同学玩去了吧！她怕家里冷清，总是不到吃饭的时候不回来。”		人啊、人	ああ、人間よ
	私はほかの人のように仲間もなく、ひとりぼっちだったから、もみくちゃになりながら、早然としてなすところを知らなかった。		我孤零零的一个人，不象人家搭帮结伙的，所以总被推来搡去，茫然不知所措。	人啊、人	ああ、人間よ
	その割にふたりとも顔がきれいで健康的だったから、すぐにおれの注意を引いた。		可是他们相貌的姣美、健康，一下子就吸引了我的注意。	人啊、人	ああ、人間よ
	彼らにベッドを配分する段になって、ふたりが蚊帳を持っていないことが分かった。もう夜だったから、学校のは借りられない。そこでおれは、趙振環には掃省中の同級生のベッドを貸し、孫悦には自分の蚊帳を渡した。		给他们安排床位的时候，知道他们都没带蚊帐。天晚了，学校的帐子借不到，我就把赵振环安排在一个回家休假的同同学床上，把自己的蚊帐给了孙悦。	人啊、人	ああ、人間よ
・・・実生活にぼくの居場所があるんだから、舞台にだってあるはずでしょ」		生活中有我的位置，舞台上不也应该有我的位置吗？”		人啊、人	ああ、人間よ
	幸い、プロンプターがいたから、なんとか山を越すことができたが、早く終わってくれと祈るような気持ちだった。		幸好，有提词。勉强强演了一大半，我真盼望着快点演完。	人啊、人	ああ、人間よ
	彼女の選択を尊重し、趙振環をうらやむばかりだった。ただ、おれは自分の愛情を捨てる術をもたなかったから、それを日記に吐きだした。		我尊重她的选择，羡慕赵振环。但是我无法放弃我的爱情，就把它倾吐在日记上。	人啊、人	ああ、人間よ
	謝君のおふくろさんが病気になるって、謝君に、会いたいから掃省してほしいと言ってきた。		小谢的母亲病了，要小谢出国去看她。	人啊、人	ああ、人間よ
	ただ、その人が善意で言ってくれているのが分かったから、おれはそれを受け入れた。		但我知道，这位同志是好心，我点头答应了。	人啊、人	ああ、人間よ
	彼はそれを見分けたのだから立派だ。		他分辨出来了，好。	人啊、人	ああ、人間よ
	馬は暴れ馬だったから安かった。		马是劣性的，所以价钱便宜些。	人啊、人	ああ、人間よ
	ぼくの馬は暴れ馬だったから、車もつけてやった。		因为我的马劣，又赔上了那辆车。	人啊、人	ああ、人間よ
「・・・君は古典文学の素養があるんだから、そっちの研究でもやったらいいのに」		“1・・・你的古典文学根基很好，搞点古典文学研究不成吗？”		人啊、人	ああ、人間よ
	「ほう、君は個人主義の尻尾をほとんどにさっぱりと切り落としてしまったんだね、だけど言っておくが、君みたいに引っ込む人間がいるから、少数者が目立つことになるんだよ」		“嗨，你的个人主义尾巴真的割干净了。可是要知道，正是由于你这样的人往后缩，少数人才突出的。”	人啊、人	ああ、人間よ
	だけど、初めてだから、とつても怖い。		也就是因为第一次，我才怕得要死。	人啊、人	ああ、人間よ
	家には、買ったばかりの新茶があったけれど、私は許って人に古い粉茶を入れてやった。粉が茶碗いっぱい浮くものだから、口をとがらせてふうふう吹きながら飲んでいる。まるで猿だ。猿そっくりだ。		家里有新茶，刚刚买来的。可是我给姓许的泡了一杯陈茶末子，末子漂了大半杯，让他尖着嘴去吹。象个猢猻。真象猢猻。	人啊、人	ああ、人間よ
「ぼくになにができるって言うんだ。息子に服がなかったから、本を見ながら二着ほど作ってやったぐらいさ。・・・」		姓许的回答，“我能搞什么？孩子身上没衣服，学着给孩子做了两件衣服。・・・”		人啊、人	ああ、人間よ
善人と悪人がぐるぐる入れ替わるんだから、ほんとにわけが分からない、だけど、正直言って、私、そんなことはどうでもいい。私とお母さんにいい人なら、何派だろうとみんな善人よ。		好人坏人，变来变去，真叫人弄不懂。说老实话，我才不管这些事。凡是对我和妈妈好的，不管他是什么派，我都说他是好人。		人啊、人	ああ、人間よ
	お母さんは総支書書記だから、おべっか言う人がいても不思議じゃない。彼は、おれが黙っているものだから自分からしゃべりだした。		“妈妈是个总支书记，当然会有人拍马屁。他见我不说话，就自己说起来。”	人啊、人	ああ、人間よ
「・・・だけど、聞いてくれないんですから、しかたありません。歴史の車輪に思い知らせてもらわうしかないですね」		“・・・他不听，我也没有办法。让历史的车轮去教训他吧！”		人啊、人	ああ、人間よ
	人はそれぞれ資質がちがうから、受ける傷もちがうのだろう。		各人的心的质地不同，所以可能受到伤害也不同吧！	人啊、人	ああ、人間よ
「・・・おじさん、お母さんはお父さんが嫌いだから、それであたしも好きでなくなったのね？そう思うと、あたし悲しくて！」		“・・・叔叔，是不是因为妈妈讨厌爸爸，也就不喜欢我了呢？想想真伤心啊！”		人啊、人	ああ、人間よ
「あんた、なにを書いたの？ご飯だから、片づけたわよ」		“你这写的是什么？我给你收起来了。该吃饭了。”		人啊、人	ああ、人間よ
	おれはあくまでも、馮蘭香とは関係がないと言い張った。ただふたりの考え方が合わず、性格が一致しないから離婚したいのだと。		我一口咬定与冯兰香没有关系，只是因为与她思想不一致，性格不合才要离婚的。	人啊、人	ああ、人間よ
	チャンスを逃したのだから、しかたない。		错过了就错过了。	人啊、人	ああ、人間よ
きっと家でなん食かたべたものだから、申し訳なくなって、きょうはお返ししてわけね。		大概是在这里吃了几顿饭不好意思了，今天要还。		人啊、人	ああ、人間よ

日本語 (訳文)		中国語 (原文)			
会話文	地の文	会話文	地の文	作品名	訳文
「・・・君ももう子どもじゃないんだから、家のことは話しておくべきなのに、そうでないと、母子の断絶を招くよ」		“・・・你也不小了，你妈妈应该把家里的事对你说。要不，你们母女俩会产生隔阂。”		人啊，人	ああ、人間よ
「あなたが病気でなんて知らなかった。気持ちがくさくさするから、散歩でもと思って出てきたんだけど、前を通りかかったので、運だめしをしてみようと思ったの・・・」		“我还不知道你生病呢！心里烦闷，出来走走。路过你家门，就想碰碰运气。・・・”		人啊，人	ああ、人間よ
「・・・私が悪い女だから、平穏と安らぎを得る資格がないとでも？ほんとに悪い女が私よりずっとうまくやっているのに！」		“・・・难道我是坏女人，不配得到平静和安宁？可是真正的坏女人的生活倒比我好得多啊！”		人啊，人	ああ、人間よ
「彼と復縁するなんて考えられないことだし、彼はC市にいるわけじゃないんだから顔を合わせる機会はなし、気にかかる必要なんかないわ。・・・」		“你又不能与他复婚，他也不在C城，眼不见心不烦。・・・”		人啊，人	ああ、人間よ
「・・・それに彼は今うまくいってないものだから、あなたを思い出しただよ。・・・」		“・・・再说，他是眼前过得不好才会想到你的。・・・”		人啊，人	ああ、人間よ
	過去の教訓があるから、私は彼の政治的境遇や家庭環境を根拠り葉振りたずねた。		接受以往的教训，我一再追问了他的政治状况、家庭状况。	人啊，人	ああ、人間よ
私も音楽が好きだったからちょうどいいですよ。		我喜欢音乐，不是正好吗？		人啊，人	ああ、人間よ
「母さんは、あなたは歳より若く見えるし、ぼくは老けて見えるから、そんなに歳が違うようには見えなくていい」		“妈妈说你长得年轻，而我老相，所以我们看上去去年岁差不多。”		人啊，人	ああ、人間よ
	母はとうに死んでいたので、私は果にかくれたかった。その果がどんなに粗末だったとしても。		我的母亲早死了，我愿意躲进巢里，不论那个巢是多么的简陋。	人啊，人	ああ、人間よ
今娘の歡歡もパパの意見に賛成だから、私たちが、そのために努力しているところよ。		女儿欢欢拥护爸爸的意见。我们为这个而努力，大概还要年把吧！		人啊，人	ああ、人間よ
	テレビを買ったら、次は洗濯機を買うためにがんばるつもりよ。一息は、私は体が弱いから、できるだけ家事から解放すべきだって言ってくる。		买了电视机，我们又得要买一台洗衣机而奋斗。一息说我身体不好，应该尽可能从家务劳动中解放出来。	人啊，人	ああ、人間よ
	さっきの党委員会で孫悦が桶突いたものだから、かつかして八つ当たりしているんだわ。		刚才在党委会上孙悦把他顶得一肚子火，他就朝我身上发泄。	人啊，人	ああ、人間よ
	奚流は一日じゅう家にこもっているから、庶民の気持ちが分かっていないのだ。		奚流一天到晚在家里，不了解老百姓的情绪。	人啊，人	ああ、人間よ
「インテリの状況はもうずいぶん変わってきているから、私たちのインテリに対する政策もそれに依って変わらなくなっちゃいけないわ。ただ孫悦は右傾化しすぎですよ！」		“虽然知识分子的状况已经发生了变化，我们对知识分子的政策也应随之改变。但是孙悦也实在太右了！”		人啊，人	ああ、人間よ
「あなた、孫悦を訪ねて個人的にお話しになったら、彼女は面子にこだわるほうだから、個人的に話せば、受け入れられるかもしれないわ。なんなら、私が行きましょか？」		“你再找孙悦个别谈谈吧！她爱面子，个别谈她也许会接受的。要不要我去找她？”		人啊，人	ああ、人間よ
	彼女は劇をやったことがあるから、態度物腰にはずっと気を遣ってきたのだ。		她当过话剧演员，从来注意风度。	人啊，人	ああ、人間よ
「・・・あなたのことは、政治的にも生活的にもしっかりした考えの持ち主だから、そんなことはするはずがないと思っているもの」		“・・・他认为你在政治上和生活上都是有主见的人，不会干那种事。”		人啊，人	ああ、人間よ
「私たちはあなたを知っているから、彼となにかあるなんて、もちろん信じないけど、大衆は・・・」		“我们是了解你的，当然不会相信你和他有什么，可是群众・・・”		人啊，人	ああ、人間よ
「・・・蛆虫なら、茶碗の中に入ってくるなんてまずあり得ないことだから構わないけれど、生活となったら構わないわけにいかないわ」		“・・・蛆虫是不大可能爬到碗里的，可以不管，而生活，能不管吗？”		人啊，人	ああ、人間よ
寒い地方だから、こういう衣類がいちばん多い。		这里天冷，人们这类衣服最多。		人啊，人	ああ、人間よ
それなら、結ばれた夢を見たのだから、当然、別れということになる。		那么，梦见合，自然是分了。		人啊，人	ああ、人間よ
いつもは母娘ふたりだから、少しも窮屈ではなからう。		平时只有母女二人，一点也不觉得拥挤。		人啊，人	ああ、人間よ
生計が苦しくて、兄弟がうんといたから、おれみたいな小金を持った“独り息子”のところに來るのがびったりじゃないか。		她的家庭经济困难，兄弟姐妹多，嫁给我这么个有点钱的“独苗”不是正好吗？		人啊，人	ああ、人間よ
そして婚約者がいるから山東の故郷に帰してくれと要求した。		她要求回山东老家，说是她的未婚夫在那里。		人啊，人	ああ、人間よ
	小生が素直に意見を言えなかったのだから無理もない。		“难怪，我这个人不会坦率地把意见告诉人家，”	人啊，人	ああ、人間よ
	小生は、ひとこと皮肉を言ってやった。面と向かって言ったのだから、相当きついはずである。		“我这样刺了她一句，我当面说出这样的话已经够尖锐的了。”	人啊，人	ああ、人間よ
「・・・農民の子が大学に進むってどんなに大変か分かってたから、あの人たちのためになにかできるのはうれしいことなのよ。・・・」		“・・・我知道农民的孩子上学有多艰难，能为他们做一点事，我也是高兴的。我一直走在这条路上，没有动摇过。我对自己是满意的。”		人啊，人	ああ、人間よ
	小生は、さっきは彼女にやりすぎだったと反省していたから、こんどは彼女を立ててやろうと思い、こうつぶやいた。		我觉得刚才把她得罪得够了，现在想给她凑个热闹，便接过来再说：	人啊，人	ああ、人間よ
「大分遅くなったな。子どもがひとりにいるから、ちょっと心配なんだ。」		“天不早了，儿子一个人在家，・・・”		人啊，人	ああ、人間よ
孫悦は当時まだ世間知らずのお嬢さんだったから、君に引かれるばかりで、君と釣り合うだけの力はなかった。		孙悦当时还是一个少不更事的姑娘，她只会受你的吸引，而不能与你匹配。		人啊，人	ああ、人間よ
	おれは、いい劇だと考えていたから書かなかった。		我认为这是一个好戏，不肯写。	人啊，人	ああ、人間よ
	仕事にかけてクロウトにはちがいないから、「人材」を特別大事にする。		多少是个业务上的内行，所以对于“才”倒是格外看重的。	人啊，人	ああ、人間よ
「もう吸い過ぎだから、これが今夜最後の一本だ。残りはあしただよ。」		“你抽得太多了，这是今晚的最后一支。余下的明天抽。”		人啊，人	ああ、人間よ

日本語 (訳文)		中国語 (原文)			
会話文	地の文	会話文	地の文	作品名	訳文
	が、なんども来たことがないから、どの窓なのか分からない。		可是我来的次数太少了，竟然认不出她的窗口。	人啊，人	ああ、人間よ
	鏡を見たわけではないから、そのとき自分の顔色が変わったかどうかは分からない。		我没有照镜子，不知道当时自己脸上是否变了颜色。	人啊，人	ああ、人間よ
	時計を見ると、間もなく昼食の時間だ。憾憾はきょうは午後、授業がないから、お昼は家で食べる。そのときに会わせるの？	我看着表，吃中饭的时间快到了。憾憾今天下午没有课，要回来吃中饭的。就让他们见面吧？		人啊，人	ああ、人間よ
	「時間が時間だから、そろそろ帰って。憾憾に会うことは、本人と相談しておきます。私はやっとなんか言った。」	“天不早了，你可以走了。见憾憾的事，我和憾憾商量一下。”我终于这样对他说。		人啊，人	ああ、人間よ
	「・・・義務を犠牲と考えるから、身勝手な感情が生まれるんだよ」	“・・・把义务看成牺牲，就会产生自私的感情。”		人啊，人	ああ、人間よ
	「小憾憾、きついなあ。ぼくが君を傷つけたから、やり返そうとしたんだね？」	“小憾憾，你真厉害呀！我伤了你的心，你也要伤我的心，是不是？”		人啊，人	ああ、人間よ
	「おじさんは食堂に行くから、あとはいとりで帰るんだよ」	“我去吃饭了，你一个人走吧！”		人啊，人	ああ、人間よ
	息子が自分の子でないから、一から十まで信じられないのだ。	儿子不是亲生的，就一百个信不过。		人啊，人	ああ、人間よ
	“・・・社会が全生産を調節しているから、自分の願望に従ってやりたいことをいつでも自由にやるのが可能になる。・・・”	“社会调节着整个生产，因而使我有可能随我自己的心愿今天干这事，・・・”		人啊，人	ああ、人間よ
	「お婆さんは身寄りがないから、私たちによくしてくれるだけ。もし身寄りがあったら、私たちがなんかせつと放り出すわ」	“我地无依无靠才会对我们好。要是你有依靠，早把我们丢掉了。”		人啊，人	ああ、人間よ
	「以前の慣例では、出版社は本を出す前に必ず著者の職場と連絡を取っていたから、われわれが受け身の立場に立たされることはありませんでした。……」	3079 “按照以前的惯例，出版社出书之前应该与作者的单位联系一下，这样我们大家都不至于被动。……”		人啊，人	ああ、人間よ
	党委員会であまり発言しないのは、恐らく、自分が党委員会で唯一の教授だから、控えめにしなければならないと思っているのだ。	他在党委会上是不大发言的，大概是觉得自己是党委中唯一的教授，应当谦虚才对吧！		人啊，人	ああ、人間よ
	「・・・私は教師として学生と直接接していますから、彼らがそんなに簡単に利用されるものでないことを知っています。・・・」	“我教书，和学生直接接触，知道他们不是那么容易受人利用的。・・・”		人啊，人	ああ、人間よ
	「私は賛成です。専門的なことは分かりませんが、出版社にも党委員会があるのですから、そちらを信頼すべきだと思います。・・・」	“我是赞成的。我不懂业务。但是我想出版社也有党委，我们应该信任人家。・・・”		人啊，人	ああ、人間よ
	「君の記憶で、ポイントだけまとめて言えはいいでしょ。彼には分かるよ。ぼくの意見なんて、熟してないから、伝えるまでもないさ」	“按你的记忆，简明扼要地对他说说吧！他会理解的。我的那些意见都不成熟，怎么好向他传达呢？”		人啊，人	ああ、人間よ
	「パンと粉ミルクがあるから、食べて行ったら」	“我这里有面包、奶粉，你在我这里吃中饭吧！”		人啊，人	ああ、人間よ
	「われわれの党委員会で検討しなければならぬから、君らの党委員会から書面で意見を出してくれないとね。・・・」	“我们党委也要研究的，请你们党委给我们一个书面意见吧！・・・”		人啊，人	ああ、人間よ
	おれがなにも言わぬものだから、発破をかけてきた。	“奚流见我我不说话，这样给我打气。”		人啊，人	ああ、人間よ
	本名は、息子に影響するから使うわけにはいかん。	不能用真名，用真名会影响儿子的。		人啊，人	ああ、人間よ
	彼女とはそれほどなじみではないから、遠慮がちに。	我与她见面次数不多，所以对她很客气。		人啊，人	ああ、人間よ
	「だって、あなたフィンテリはみんな変わり者なんだもん。みんなちょっと神経質だし、まるで子どもみたいに今喧嘩したかと思うと、すぐ仲良しになるんだから、おかしいでしょ？」	“我觉得你们这些知识分子都是怪人。都有点神经质。象小孩子一样，一会儿吵，一会和好的。稀奇吧？”		人啊，人	ああ、人間よ
	「おまえのおかあさんは早死にして、あとにこのこしたのは、おまえという娘きりなんだから、まじめに勉強して、おかあさんのためにがんばってやらなくちゃね」	“你妈死得早，只丢下你这个女儿，要好好读书，给你妈争口气。”		人啊，人	ああ、人間よ
	「あたし必ずいつまでもお婆さんといっしょにいるから、悲しまなくていいわ」	“我一定永远跟你在一道，你别伤心。”		人啊，人	ああ、人間よ
	「行っておいで、義徳のお気に入りだから、あの子をおこらせてはだめよ」	“去吧，义德喜欢守仁，你可别得罪他。”		人啊，人	ああ、人間よ
	「・・・これからはもう、労働者がちやほやされる時代だから、新しい組合にこちらの人間を入れておくと、事がうまく運ぶんだが、きみの考えは……」	“佐贤，你说的对，现在解放了，锭子不好再随便搬了，今后工人吃香了，新工会里没有我们的人不好办事，你看，……”		人啊，人	ああ、人間よ
	「・・・かれは、工員たちの間で大へん威信があるから、このさい、もういちど、いくらか政治的資本を与えれば、それでよからう」	“・・・他在工人当中有些威信，现在我们再给他帮一手就差不多了。”		人啊，人	ああ、人間よ
	“家族の多いものは、話すにも不便ですから、むろん外へ行って話す必要があるでしょう……”	“家里人多的，谈起来也不方便，自然要到外边来谈……”		人啊，人	ああ、人間よ
	夫は南方へ療養に行き、娘は勉強に出かけていたし、私は部屋に火もたかずにいたから、人気のない室内は格別寒々と感じられた。	因为丈夫到南方养病，女儿又出去复习功课去了，我也就没给屋子生火，空荡荡的房间里，显得特别冷。	天云山传奇	天雲山伝奇	
	今日も、私はまさにそういう気分になっていた所だったから、彼女が来たのを見て実に嬉しかった。	今天，我也正处在这种情绪之中，所以看到她来了，我很高兴。	天云山传奇	天雲山伝奇	
	我々総合調査隊は、ほとんどが若者で、当時流行の言い方では“生活に向って歩み出した”者たちというわけ、何年か学校に閉じ込められていたあとでこの美しい山地にやって来たものだから、放たれた小鳥みたいにやたら嬉しく、飛び跳ねんばかりだった。	我们综合考察队。大都是年轻人，用当时流行的语言，叫“开始走向生活”。在学校关了几年我们的，一下到了这美丽的山区，就像自由自在的小鸟，简直快乐得飞起来了。	天云山传奇	天雲山伝奇	

日本語（訳文）		中国語（原文）			
会話文	地の文	会話文	地の文	作品名	訳文
「『帰って来ます。あの人はね、最近私の身体がめっきり弱くなったから、食べものを買って栄養をつけねばとって、私に黙って協同組合の馬車の馬方をやると申し出たのです、そういう人なの。・・・』」		“‘回来。’冯晴岚说，‘他这个人就是这么个脾气，他说我近来身体太弱了，他要给我买些东西补补，瞒着我请求供销社让他去赶一阵子马车。我知道了，拦也拦不住。・・・’”		天云山传奇	天雲山伝奇
「もちろんできるわね、あなた方は経験をつんできたから、何が正しくて何がまちがっているかを知っているのですもの、これは大事な条件よね」		“我相信你们能，你们经历了那么多，你们懂得什么是对的，什么是不对的，这就是条件，对不对？”		天云山传奇	天雲山伝奇
「・・・木を伐って炭を焼き、その炭で土法鋼炉の鉄を製煉せよというのだから、それを発見した時我々が狂喜乱舞した貴重な森林資源を、みな焼き払ってしまうというのですから、あまりにも愚かな話です。」		“・・・据说要把森林砍下烧炭，用这种炭去炼土高炉的铁，把我们在发现时曾经为之跳跃过的宝贵森林资源，准备付之一炬。这实在是荒唐透顶的事。”		天云山传奇	天雲山伝奇
	でもこんなふうには眼中に人もなげな、自分中心の態度はいつもの事であったから、私は別に気にもせず、ほっておいた。		他这种目中无人，以自我为中心的表现是经常的，我倒也没有在意，也没有去理他。	天云山传奇	天雲山伝奇
	人に泣き顔をみられてはまずいから、少ししてから出て行けというのかと思ひ、私がためらっていると、彼はまた、		我当他是怕人看见我哭，让我迟走一会，我迟疑了一下，他又说：	天云山传奇	天雲山伝奇
「私の知らない人だから、きいても分らないし。それに周さんは急いでそこへいって、なんでも明日休暇をとって天雲山へ行くって言ってたわ」		“我又不认得，问了也不知道，再说，她又急着要到那里去，说是明天要请假上天云山！”		天云山传奇	天雲山伝奇
「いいえあなた、私のために悲しまなくていいのよ。私はありきたりの女だけどやるべきことをやりとげたのだから、幸せよ。あなたは？」		“亲爱的朋友，不要为我而悲伤，我是一个平凡的女人，但是我完成了我应该完成的事，我是幸福的，你呢？”		天云山传奇	天雲山伝奇
	私は彼女に、ずっとよくなったから安心して学校へ行きなさいと言ったが、本当は気分は昨日よりもっと悪くなっていた。		我告诉他，我好多了，要她安心去上学。	天云山传奇	天雲山伝奇